

ランドバッド×アリアリ
はふらふらせつくす本
モアかんをふくみましゅ☆

成人向け
アイスクレロ 愛蔵ノユ

お清め
ゴニゴニ
ゴニゴニ
ゴニゴニ
ゴニゴニ





何度目か分からない性を吐き出して
アリババくんに目を向けた。

もう声が出ないのか息も絶え絶えになっている
彼の手を握ると、弱々しくそっと握り返してくる。

意識が混濁しているのか、焦点が虚ろだ。

それでも、自身を犯している者確かめたい
のか、彼の目はずっと俺を見ている。

いいかげんにせねばと、ゆっくり肉棒を引き
抜くと、反射なのか彼の腰が震えた。

かすれた愛らしい声があえかに漏れる。

これを他の者が感じたのかと思うと、

我慢ならなくなり、俺はもう一度深く沈めた。

※ attention ※

- ・この本はフィクションです。
- ・暴力的表現/犯罪表現が含まれます
- ・原作元、版權元とは何の関係もない個人が趣味で作ったファン活動です。
元様へのご連絡は何かあっても止めて下さい。
- ・ご存知のとおり魔法によって性病にはかかりません。

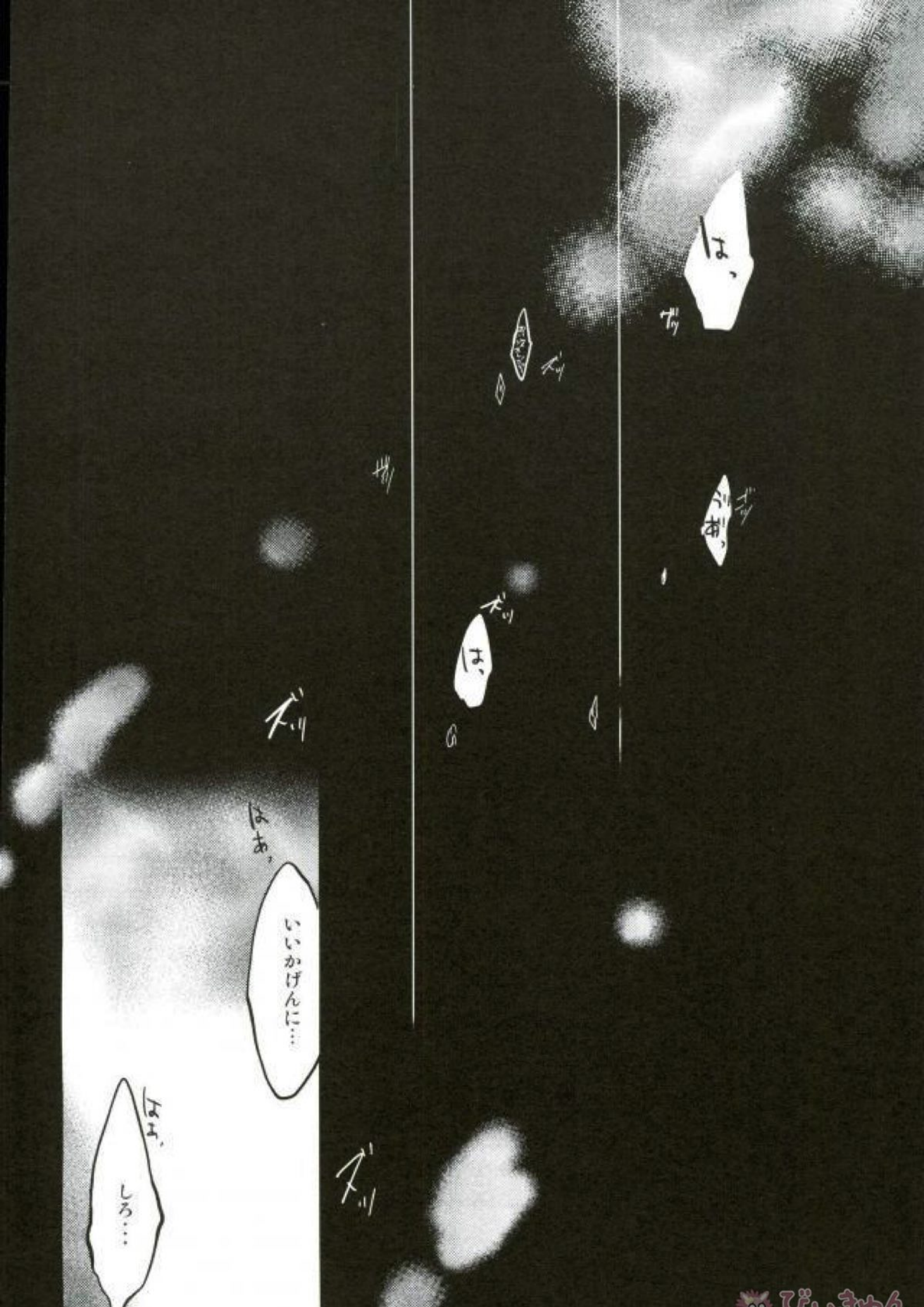
この本はフィクションです。
暴力的表現/犯罪表現が含まれます。

この本はフィクションです。
暴力的表現/犯罪表現が含まれます。

この本はフィクションです。
暴力的表現/犯罪表現が含まれます。

この本はフィクションです。
暴力的表現/犯罪表現が含まれます。

この本はフィクションです。
暴力的表現/犯罪表現が含まれます。



あま

いかげんに...

あま

しろ...

あま

あま

あま

あま

あま

まだそんな事
言ってるのかよ

はあ？

ばくしょ〜ww

アハハ
きよーいく音
すげえ良いなw

手え
止めんなよ

もっかい鼻
つまんで飲ませて
やろうか

つかせて下から
飲ませてやれよw

あーあバツチイなあ
俺のせーえき
吐くなよ

うはww
ゲロフエラ
いっっちゃう？

あくやっべ
出ちった

もつとシテ下さい
だろ？

「やす」

ケーゴ覚えよ
ガキがつ！

あは
きつ
お前

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ
あーあ

あーあ
あーあ
あーあ

…すいま…せん…
でした…

おお!?
覚えたー!?
言えるじゃん!

…めて 下さ
あ?

ココだけは
一級品だな
こいつw

まー今さら
言ったところで
止めねえけどなっ

「アリババくん」
締まり♡
サイコロ♡オツ
オツ、うおツ♡

あーいお
泣いちゃった

おい早く
替われよ

みんなのザーメ
タンク☆アリバ
サルージャヤ!

あーいお
泣いちゃった

おっほ♡
ちやんと
しゃぶれるじゃん

亡国の王子様だか
知らねーけど、
身の程を
わきまえろよな

まー今さら
言ったところで
止めねえけどなっ



おっと

どん、

1人で
珍しいね

あれ？
アリババ靴
どした？



……！
アリババくん
きみ怪我して
るのかい？

服も
ボロボロじゃ
ないか！

一体どう……



ツイ

ワイ

ガヤ



アハハ



ーで、その時
マスの奴がですね

いや
マジで
すって！！

わかったわかった
ハハハ……ん？

アハハ



……あれ、
アリババくんじゃ
ないか……？

あ、本当だ

おー
アリ





シンドバッドさん!



う...



ガッガッ
メオオオオ



起きたかい?

はあ

はあ



何があったかは体の状態でわかったよ



手当てがしてある...?

何でシンドバッドさんが...

ちがつ...

まわりの者にも口止めしておいた

...ともかくまずは話を...

それとも広まっても平気な事実なのか？

どこへ行くんだ！

はなして下さい！

俺にかまわないで下さいッ！

そんな価値...俺に無いんですっ

何を言ってるんだ！？

汚いんです！触らないで下さい！！

じゃあ...

君は君だろ！！

こんな事で汚れなんかしない！！

じゃあ俺が...

シンドバッドさんの
恋人だとしても
抱けるんですか!?

なっ!?

俺が抱けば
満足なのか?

テキトーなこと...

言わないで
下さ...

ああ...何
言ってた俺...

わかってる...これは
やつあたりだ...

シンドバッドさんは
手当てして
くれたのに...

なさけねえ...





ホラ
啜えなさい

あっ

うわ…これ…
シンドバッドさんの…

君がされた事を
俺で塗り
替えると良い

ドキ

すり、

すり、

す…すげえ…
俺シンドバッドさんの
ちんこ見てるんだ…

少し固く
なってる…

この人…
こんなトコまで
スゲェんだ…

ドキ

ぎい、

俺…くちに
男のちんこ
を…

あ…でも
シンドバッドさん
だったらたじかに
何かちが…う…？

なんでだろ…
って言うか
い、良いのか
触って…？

塗り替える…って
でも男にやられた
事には変わりない

そんなの
ありえねえだ

ま…
まあ…もう
今さら…
だよな…？

うわ…口つけ
ちった…

ちや、

ドキ

ドキ

びく

びく

花びるん



ん...っ

熱い...

スゲ...全然口に収まりきんねえ...



あ...先っほ...ちよっとしよっぱい... シンドバッドさんも男なんだ...

俺...何じでんだろ... あんな...さつきは暗い気持ちにしかならなかつたのに...



もうさつきの事よりも シンドバッドさんの事の方が強烈すぎて...

今...むしろや...やらしい気持ちになっちまってる...

お...俺勃ってる...かも...

なんで...こんな...



旨そうに舐めるんだな

すいぶん



ち…ちがっ!!
これは……そのツ…
シ、シンドパッドさんが
俺を女扱いするから

だ…だから
今までの女と
同じようにって
思っ…!!



…
え?

そういう風に
男たちのを
舐めてやった
のか?



な…
シンドパッド
さん…?



ずいぶん
欲をつく
じやないか

え



ぐんぐん

なっ

ふわあ

とろろ





.....

.....

.....

もつと奥まで
かき出して
あげよう……

ぎゅ

ど

はは

はは

はあ

アリババくん

……



無理？
 じゃあ、さっき
 良かったこは？





.....なこっ

カッ

カッ

ふ

怒って

ますか？

ああ、...かもな。

こきょう

ふ

ふ



俺になつく君を
いつしか自分の物の
ような気がしていた

あ

あ

あ

だから、
...だと思っていた



君が誰かに
抱かれるだのかと
思うと無性に苛つく

グ
ッ

グ
ッ

この隙だらけの君を
メチャクチャにして
やりたい...



俺は

君の事が
好きなんだと
思う



アリババくん
気持ちいいか？

す、好きっつ……..
おれのい……

い…今…
なんて
言った!?



いいなら良いと
言いなさい

だ…めた…

そうか

あたま…
真っ白に…

じゃあ次は



俺の事を
好きだと
言いなさい



ずっと
抱き続ける
からな

知

!!

!!

!!

!!



き、君は本当に俺の事が好きなんだな...

う...こそ...
言いたい事はいっぱいあるのに、その笑顔は単怯だろ...

.....
キーですよ.....
どうせ好きですよ.....



おお...やっとシラフで好きって言ったね...

ああ...
もう...

...違いますよ。
シンドバッドさんが俺の心を塗り替えたんです...



へえ...
ギレって俺すごいね

本当!!

シンドバッドさんは
すごい人なんです

あんな事があつたって言うのに、もうどうでも良くなってる

キウですよ
知らなかった
ですが

めでたしめでたし





aisukureyo
Hoshikuzu noyu

MAGI
Sinbad + Alibaba

この本は原作者様、版權元様とは何の関係も無い二次創作です。
一般の方の目につくオークション、及び
無断ネットアップロード、無断転載等は
同人が今後禁止になる可能性があるのでお止め下さい。

この本はフィクションです。